

地域と^{とも}共に生きる～赤い羽根共同募金の取り組み

毎年、10月から12月までの3か月間、赤い羽根共同募金の活動が行われます。

厚別区では、総額4,397,470円（H29年度実績）の募金が集まりましたが、そのうち120,352円は学校で集められた募金です。集まった募金の約7割が地域に還元され、地域福祉活動や学校の福祉教育などに使われています。

今年度も厚別区内の学校では、児童会・生徒会での募金活動をはじめ、街頭募金活動など、たくさんのご協力をいただきました。

学校行事で募金の呼びかけ～もみじの森小学校



もみじの森小学校
石澤 龍彦 校長

私が昨年まで勤務していた厚別北小学校では区社協からの呼びかけもあり、学校行事で初音ミクや北海道日本ハムファイターズのグッズを取り入れたイベント募金を行いました。とてもいい取組でしたので、もみじの森小学校でも取り入れました。子どもたちだけでなく保護者の反応もよかったです。来年もぜひ実施したいと思っています。

もみじ台地区では、子どもたちへの見守り活動や地域のお祭りなどで、地域の皆さんが子どもたちを見守ってくださっています。子どもの頃の経験は、人生にとってかけがえのないものになります。自分のおこづかいの一部が募金を通して地域や福祉の向上につながっていく。いずれ社会に出ていく子どもたちには、自分たちの地域や仲間と“共に生きていく”という気持ちを忘れずに成長してほしいと思います。

児童会の熱心な呼びかけ～もみじの丘小学校

もみじの丘小学校（井田 敦校長）は、毎年、児童会が自主的に募金活動を行っています。

集まった募金は、児童会会長の林航太郎君（6年）から区の共同募金委員会に渡されました。

井田校長は「自分の募金が人の役に立つことを想像して、自分の行動につなげていく。いつか自分が困ったとき、だれかが助けてくれるという安心感をもつことができる。募金活動は子どもたちの教育にとって、大きな価値があると思います。」と話してくださいました。



もみじの丘小学校児童会の皆さん

街頭募金活動の取り組み



札幌厚別高校の皆さん

札幌市立青葉中学校
（佐々木崇博校長）
北海道札幌啓成高校
（丸木 克朗校長）
北海道札幌厚別高校
（生田 仁志校長）